

多久聖廟創建300年祭実行委員会では4月27日、当市出身のタカラジェンヌ・夢乃聖夏さんを招き、中央公民館で『ドリームトークショー』を開きました。

また、翌日は、市内の中学生を対象に『スクールトークショー』を行いました。多久聖廟創建300年記念事業の一環として、「人に夢を！多久に元気を！」と催したもので、入場券を手にした市内外からの500人と市内の全中学生630人が参観しました。

特集

多久聖廟創建300年記念
人に夢を！多久に元気を！夢乃聖夏トークショー

信じれば夢は叶うもの 見つけた夢の一步一步を大切に

宝塚歌劇団の概要や主演した舞台映像を交えた夢乃さんのトークは、自ら進むべき道を切り開き、積み重ねた努力と成果であり、プロとして養われた精神でした。光り輝く舞台人として人々に夢を与えながら、自らが夢に向かって歩み続ける貴重な体験談に、傾聴した女性参加者からは「素晴らしい話だった」。

筋が通った考え方と姿勢に感銘した「50歳の私も元気をもらい、前向きに頑張ろうと思った」の「コメントで、男性からは「男の自分より、かっこいいと思った」とも。さらに、中学校では

「夢を持っているので、諦めては駄目だと思った」などの声が聞かれました。インタビューとの掛け合いで進んだトークショーの一部を紹介しましょう。

多久聖廟創建300年おめでとう
ございます。私は、多久市出身の
宝塚歌劇団星組「夢乃聖夏」です。
本日は、この様な素晴らしい行事に
お招き頂き、ありがとうございます。

運命の出会いには12歳の春

——宝塚歌劇団に入団しようと思っ
たきっかけは何ですか？

私は今、身長が172cmあります

が、実は子供の頃から高い身長がコ
ンプレックスで、長身を生かす仕事
が何か見つければいいなという思い
を持っていました。そして、小学校
を卒業した春休み、大阪に住む大叔
母の所へ行った時に観劇し、宝塚歌
劇との出会いがありました。ピアノ
の先生や薬剤師などいろんな職業に
憧れたりしましたが、華やかなス
テージに魅了されて以来、宝塚に入

れたら…と、想像をするようにな
り、夢が膨らみました。

人生を変えた瞬間、夢が叶った瞬間

——宝塚音楽学校の合格が分かった
時はどんな思いでしたか？

中央中は、友と過ごした楽
しい時間や部活のソフトボール、秋
の駅伝など思い出いっぱいです。宝
塚を目指すものの、特別なレッス

